

会議等結果報告書

会議区分	会議・打合せ・協議	文書番号	845
		決裁期日	平成29年 3月24日
名称	町営住宅入居者選考委員会会議		
日時	平成29年3月23日(木) 13:25~14:30		
場所	役場審議室		
出席者	北川委員長 田中副委員長 濱本委員 平倉委員 早川委員 事務局 鈴木町民生活課長 狩野主幹・岩田主査		
内容	<p>町営住宅入居者選考委員会会議を次のとおり行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町長より各委員へ委嘱状の交付 ・各委員の自己紹介 ・町長挨拶 ・委員長・副委員長の互選 <ul style="list-style-type: none"> 事務局：委員長・副委員長の互選についてご意見ありますでしょうか。 早川委員：慣例により委員長は社会福祉協議会会長がいいと思います。 異議なしの声 副委員長についての声はなし 事務局：副委員長について意見がないようですので、前回副委員長の副町長と考えますがいかがでしょうか。 異議なしの声 北川委員長、田中副委員長に決定 ・北川委員長挨拶 <p>報告・議事事項</p> <p>1 町営住宅の管理状況について</p> <p>資料により事務局（岩田主査）説明</p> <p>北川委員長：西町団地の政策空家について詳しく教えてほしい。</p> <p>事務局：西町団地の政策空家についてですが、現在泉町南団地の建替えを行っており、その後については西町の建替え計画が控えており、まずは住棟の取壊しを行わないと建替えが出来ないことから、現在西町2丁目側の新規の入居者募集は行っていなく、政策空家としています。</p> <p>2 町営住宅の公募、入居結果について</p> <p>資料により事務局（岩田主査）説明</p> <p>冒頭昨年度に住宅困窮度判定基準調査表の見直しを行った経緯について住宅困窮度判定基準調査表を使用しての入居者募集については平成</p>		

22年2月から、当時は富町団地の建替えて富町団地8号棟の新築の一般公募から使用している。入居者選考委員会では入居結果について検証を行ってきており、その中で一人親世帯等の入居者に偏りが見られること、各団地の入居者からも町内会役員の成り手がいないなどの意見が寄せられていること、国からの情報提供で、小さな子どもがいる世帯や多子世帯の優先入居の取扱いが示されたことから、昨年度見直しを行った事を説明。

また、昨年度の議案資料の住宅困窮度判定基準調査表（案）について、判定項目の区分8が管理条例の第9条と一致しなくなることから、区分8としていたものを区分7の中に入れることを確認。

北川委員長：近年の申込状況の傾向として、申込団地にかたよりはしないのか。

事務局：住宅の新しい古いでやはり申込にかたよりがあります。また、最近については、病院が近くスーパーもさほど遠くなく、住宅も比較的新しいことから、富町団地の申込は多い傾向にあります。宮町団地についてはスーパーが近いですが、住宅が古くなっているという印象からか、以前と比べると申込が少ない傾向にあります。

3 町営住宅の整備概要について

資料により事務局（狩野主幹）説明

北川委員長：泉町南団地3号棟は鉄筋コンクリート造とのことだが、同じ造りの住宅で音の苦情は出ていないのか。

事務局：音の苦情については鉄筋コンクリート造りでもあります。木造の住宅よりは良いと考えていますが、苦情については上下間の振動音です。

4 その他

事務局より来年の入居者選考委員会議について

次回の入居者選考委員会議については、泉町南団地3号棟の建設及び一般公募にあわせ1月の中旬から下旬を予定。また会議の際には3号棟の現地視察を予定。